

事業コード	03060503			政策コード	03	政 策 名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略						
事 業 名	未来につなぐ豊かな海づくり推進事業			施策コード	06	施 策 名	つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興						
				指標コード	05	施策目標(指標)名	「全国豊かな海づくり大会」等を契機とした水産業の活力向上						
部 局 名	農林水産部	課 室 名	水産漁港課	班名			調整・振興班	(tel)	1885	担当課長名	阿部 喜孝	担当者名	寺田 幹

評 価 対 象 事 業 (計 画) の 内 容

事業年度

令和02年度

～

令和06年度

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 令和元年度に開催された「天皇陛下御即位記念 第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会」では、本県の水産物や魚食文化を県内外に発信する絶好の機会となった。これを契機として、県産水産物の認知度向上と品質の強化、安定生産・供給化の取組を一層推進し、更なる消費拡大とブランド力の強化を図り、漁業者の所得向上を実現することで、水産業を魅力ある産業として育成する。				3．事業目的(どういう状態にしたいのか) <div>地魚の消費拡大や高付加価値化の取組により、魚価が向上し漁業者所得の増大が図られる。また、漁業や水産物を核とする観光振興を推進することにより、漁村の活性化を目指す。</div> <div>(重点施策推進方針との関係)</div> <div>重点事業として要望</div> <div>その他事業として要望</div>			
--	--	--	--	---	--	--	--

2．住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期 : H31 年 03 月) ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的内容 <div>漁業者所得の向上のためには、魚価の高値安定が必要であり、地魚の消費拡大や高付加価値化に対する取組への期待が高まっている。</div>				4．目的達成のための方法 事業の実施主体 漁業者、漁業協同組合、食品事業者、県等 事業の対象者・団体 漁業者、漁業協同組合、食品事業者、流通・販売業者、消費者 達成のための手段 <div>地魚の消費拡大を目的としたイベント等の開催や漁業者・食品事業者による鮮度保持、未・低利用魚の利活用などの取組を支援するとともに、漁港泊地を活用した蓄養殖試験を実施する。</div>			
--	--	--	--	--	--	--	--

把握していない場合の理由及び今後の方針				比較した代替手段及び選択した手段の有効性 <div>漁業所得の向上のためには、地魚の需要増大や漁獲物の付加価値向上、安定供給化等、複数のアプローチがあり、これらを同時に展開し、魚種ごとに最適な販売戦略を練る必要がある。</div>			
理由							

今後の方針							
-------	--	--	--	--	--	--	--

5．事業の全体計画及び財源

単位(千円)

順位	事業内記	左 の 説 明	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画
01	秋田の地魚消費拡大事業	地魚をテーマとしたイベント(地魚フェスティバル)の開催や、県内小売店等と連携した地魚普及キャンペーンなどを実施し、県産水産物の認知度を高め、消費拡大を図る。	2,813	2,813	2,813	2,813	2,813	0	14,065
02	ブランド水産物創出支援事業	水産物の高付加価値化や未・低利用資源の活用支援、漁業者や加工業者へのサポートを実施し、県産水産物のブランド化に向けた品質向上を図る。	6,685	6,685	6,685	6,685	6,685	0	33,425
03	秋田版もうかる蓄養殖推進事業	漁港内静穏域において、養殖用いかだを活用した蓄養殖試験を実施し、水産物の品質向上と安定供給化を図り、魚価の向上につなげる。	4,845	4,845	4,845	4,845	4,845	0	24,225
財源内記		左 の 説 明	14,343	14,343	14,343	14,343	14,343	0	71,715
国 庫 補 助 金			0	0	0	0	0	0	0
県 債			0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		農林漁業振興臨時対策基金繰入金、労働保険料納付金	11,530	11,530	7	7	7	0	23,081
一 般 財 源			2,813	2,813	14,336	14,336	14,336	0	48,634

